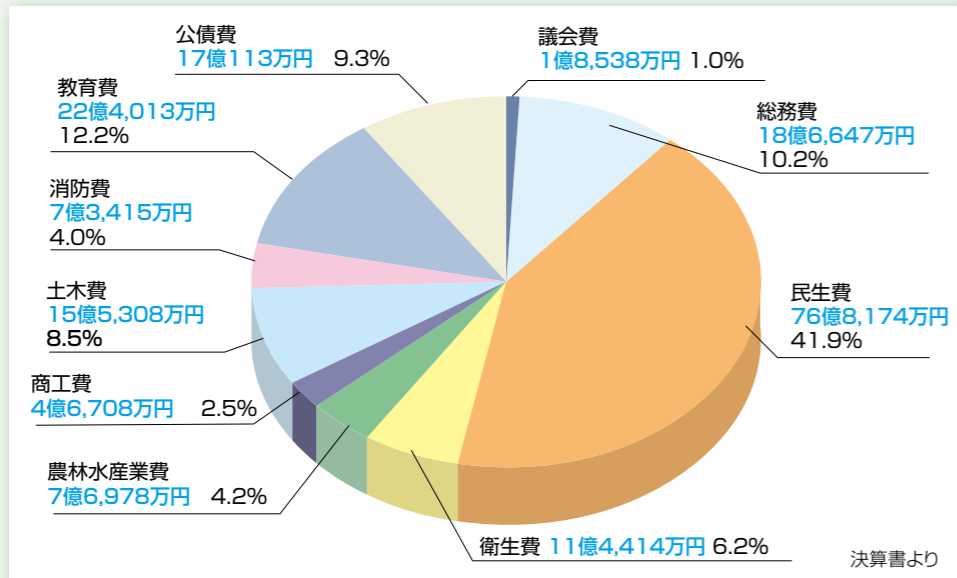


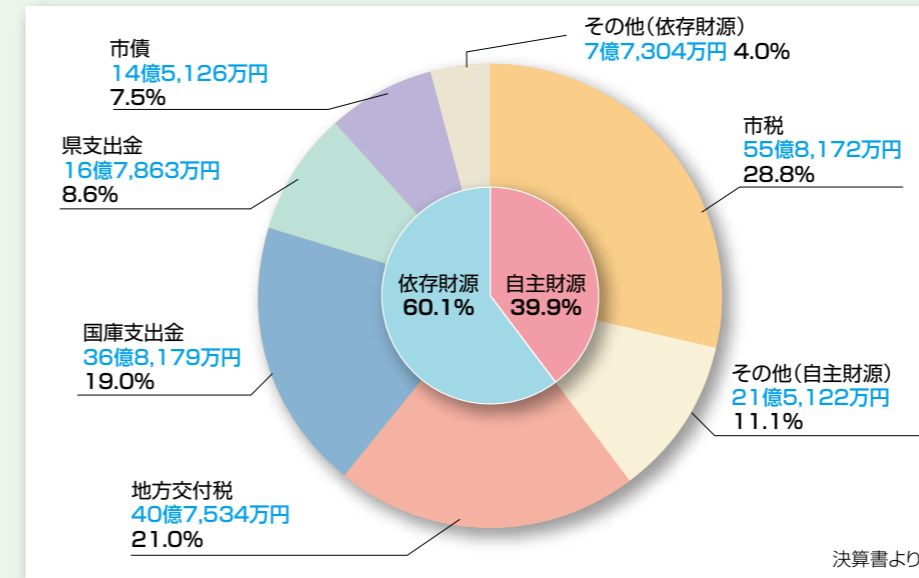
合志市一般会計歳入・歳出 決算を認定しました

歳出(183億4,308万円)



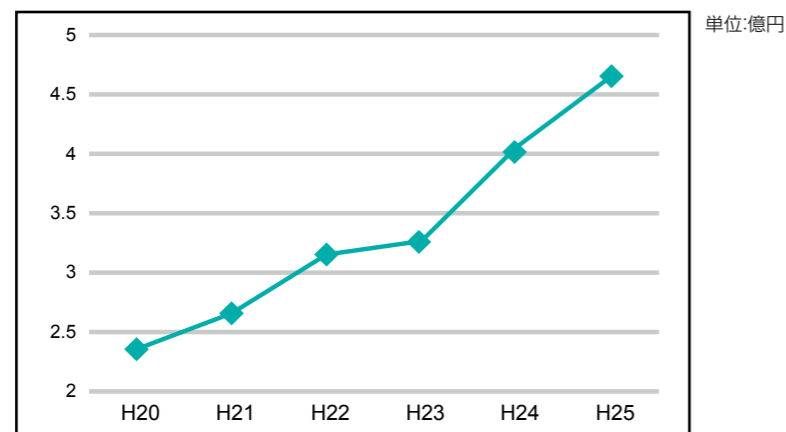
※歳出は前年度に比べて4.1%、7億2,600万円増加しています。
特に民生費は前年度比10.9%、7億5,700万円増加傾向が顕著です。
民生費は生活保護、高齢者福祉、障がい者、児童福祉、母子福祉に関する費用と国民健康保険・介護保険特別会計への繰出金が主な費用です。

歳入(193億9,304万円)



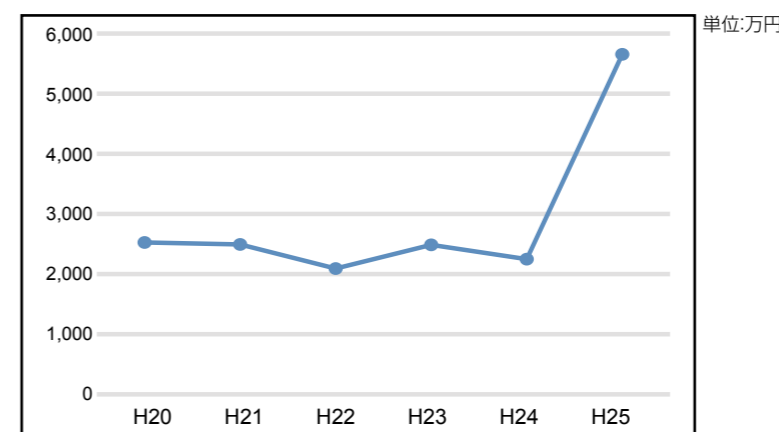
※歳入は前年度に比べて2.5%、4億7,400万円増加しています。
前年度比で市税は3億1,900万円、地方交付税は5億8,800万円、繰越金も7億8,700万円と減でしたが、平成26年度は改善しそうです。
逆に、国庫支出金は10億5,100万円と大幅増になっています。
なお、自主財源比率は前年度44.4%から39.9%で4.5ポイント減少しました。

国保繰出金の推移(H20~25)



※民生費の中の国保会計繰出金についてを見ていきましょう。
国民健康保険制度は加入者からの国民健康保険税と国庫負担金等で運用されていますが、それでも財政的に厳しく、合志市も一般会計より繰り出しています。
平成24年~25年にかけて伸びが加速しています。
国民皆保険の根幹として制度を維持運営していくことは、重要な課題です。
しかしながら、医療費等の増大により財政不足も明らかです。
平成24年3月に続き平成26年9月、合志市議会より国に対し、国庫負担金を増額する旨の意見書を提出しました。一刻も早く健全安定した国民健康保険制度が待たれるところです。

財産収入の推移(H20~25)



※今回はその他(自主財源)の中の財産収入を取り上げます。
財産収入とは、市が有する財産(公有財産、物品、債権、基金)の貸し付け等の運用により受け取る賃貸料、利息、配当金及び財産の売り払い等による現金収入です。
特に基金は平成25年度末現在高67億円強、今までは定額預金での運用でしたが、平成24年度から国債で運用を開始しました。平成25年度の財産収入が大きく増加した要因は当年度2月国債を5億円売却し3,663万円の利益が生じたためです。
国債は、金利が上昇すれば価格は低下し、金利が下がれば価格は上昇します。
現在も国債を5億円保有していますが、議会としても今後の金利動向には注視していきたいと思っています。

9月定例会は、9月2日(火)から24日(水)までの23日間の会期で開きました。
条例改正、平成26年度補正予算、平成25年度決算など市長提出議案等20件、請願2件のほか議員提出議案5件を審査しました。ほか報告2件がありました。
議決結果は、市長提出議案等20件を原案どおり可決・認定、請願2件採択、議員提案は4件可決、1件が修正可決となりました。
一般質問は、11人が市政に関する問題を質問しました。
今定例会には、延べ86人の方々が傍聴に訪れました。

平成26年第3回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
9	2	火	本会議	市長提出議案上程及び説明
	8	月	本会議	質疑、委員会付託
	9	火		
	10	水	常任委員会	付託事件の審査
	11	木		
	12	金		
	17	水		
	18	木	本会議	一般質問
	19	金		
	24	水	本会議	委員会報告(質疑、討論、表決) 議員提出議案(上程、質疑、討論、表決)